

Mランドニュース Vol.218

丹波ささ山校 令和7年6月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 近藤 正幸
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉 みなさんかいて 私かいる

「命の授業」 腰塚勇人 先生

創立記念に際して

代表取締役会長
小河 吉彦



このたび、篠山自動車教習所として六十三周年、そしてMランドとして二十周年という節目を迎えることができました。この永きにわたり私たちの歩みを支えてくださったすべてのゲストの皆さま、地域の皆さま、そして関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

日本社会では、人口減少や少子高齢化が進行し、私たちは未曾有の大災害であったコロナ禍を経験しました。それにより、生活様式や価値観は大きく変化し、分断や縁の希薄化といった課題は、より深刻さを増しています。便利になり、物質的には豊かになった一方で、「なんだか心が満たされない」と感じる方も少なくないのではないのでしょうか。

では、私たちコガワグループは、こうした社会課題にどう向き合っていくのか。

創業者・故小河二郎は、自動車教習所を通じて、人間が生まれながらに持つ善悪の判断力、つまり「優しい心(善い心)」「のこを、「燦(やわらぎ)の心」と呼び、それを経営の根幹としてきました。そして、卒業される教習生の一生無事故・無違反を願い、これまでに「燦の心」を育むさまざまな取り組みを重ねてきました。

リアルな場で人と人がつながり、いきいきとした活力ある地域を育むことが、今、そしてこれからますます求められていくなかで、「良知に触れる場所でありたい」という創業者の想いは、私たちの行動指針として、改めて大切にしたいキーワードだと強く感じています。

これから私たちは、教習所という枠を越え、地域に必要とされる存在へと歩みを進めてまいります。その想いを胸に、ゲストお一人おひとりと真摯に向き合いながら、地域と共に成長していくことを、私たちはこれからも大切にまいります。

結びにあたり、この歩みを共にしてくれている社員の皆さま、そして日々温かく支えてくださっているご家族の皆さまに、心より感謝申し上げます。

衝撃の講話

顧客チーム

長谷川 泰之

それは、頭を鈍器で殴られたような衝撃でした。講演家、腰塚勇人様のお話「命の授業」には、それだけの言葉の重み、そして説得力がありました。



腰塚様による講演

これまで私は知識や技能を覚えることはしてききましたが、自身の人間性や人格について深く考えることはありませんでした。

私はとても保守的な人間で、新しいことに挑戦することが苦手です。自ら固定観

念の枠組みを作り、リスクを避けてばかりいました。安全や安心を得ることを悪いことだとは思いません。しかし、それは反面、自身の成長の可能性を捨て、責任から逃げていたということでもあります。

例えば教習もそうです。自身がいくら正しいことを語っても、相手はこちらを信頼し納得しなければ伝わりません。こちらにも言い分があるように、当然、相手にも言い分があります。判断基準や価値観が違うのは当たり前。それらを全て認めて初めてスタートラインに立つことができず。私には、相手を認めるということが圧倒的に欠けていました。

常人であれば挫折し、立ち直ることができない絶望の淵から戻ってこられたのは、自分を支えてくれた多くの人がいたから。そう腰塚様はおっしゃいました。人は自分だけで生きていくのではなく、多くの人によって生かされている。自分の命は自分だけのものではない。そんな当たり前のことを、我々は普段気にも留めず生活しています。当たり前のことは当た

り前ではなく、本当に多くの方が陰に日向に支え合うことで成り立っている。そのことを再認識させていただくことができました。

現在、私は四十七歳になり、人生も折り返しにきています。これからの人生を無駄にしないよう、一日一日、生かされていることに感謝し、自身と周りを大切にします。そのことを忘れず実践できるように、これからも努力を続けて参ります。

ありがとうございました。

この度、創立記念に祝賀会を開催し、永きにわたりMランドを支え、ご尽力くださった職員四名に永年勤続表彰を授与いたしました。

ここでは、その職員からの、感謝とこれまでの歩み、そして未来への想いが込められた感想文を順にご紹介します。

ベテラン勢、語る



受賞された
林・西林・後藤・谷口
各面々

家族と仕事、感謝
共習チーム

林 美枝

この度は、永年勤続表彰をいただき、光栄に思います。入社してから三十一年間、初心運転者の育成に努めて参りました。

今日まで、本当に多くの方々とお出会いし、一人の人間として成長させていただいていることに感謝しております。

永きにわたり続けてこられたのは、亡き父と闘病中の母の多大なる援助、そして、ワノオへで家事を担ってくれた主人と帰りを待つ子どもたちが居てくれたからこそだと、心から感謝をしています。

今になってよく使う言葉が、「失敗を恐れない・失敗をしてもいいよ」というものです。何が良く何が悪いのかわからないのに、やらずにいると成長はないと思っていいます。ただ、失敗をして終わりではありません。その後原因を考え、どうすれば改善できるのかを見つけて行動すればいいのです。そんな言葉を使えるようになって、自

分に余裕ができたような気がします。

最後になりましたが、皆様の幸せの一助となれるように、これからも貢献していきたいと思えます。

ありがとうございました。



サプライズにビックリ!

感謝を胸に二十九年

営業部

後藤 茂

平成九年に入社し、二十九年目を迎え、いつの間やら勤務表の下欄にあった私の名前が上欄に配置されていることに、月日が経つのは早いものだと改めて実感しております。

『石の上にも三年』という諺があります。辛抱すれば必ず成功するとは限りませんが、時間をかけてじっくりと物事を成し遂げる重要性

を感じております。大病もなく生活できていると両親に感謝し、一緒に仕事をしている上司並びに同僚にも感謝しております。そして、生活拠点である丹波篠山の地域の方々にも感謝の気持ちをもち、これからも勤めて参りたいと思っております。そして地域社会に少しでも貢献できれば幸いです。

この度、永年勤続表彰をいただき、ありがとうございました。



表彰状と記念品を贈呈

大切な財産

やわらぎチーム

谷口 健

送迎バスの運転から始まり、指導員、検定員と資格を取ってからも、厳しく真剣に、時には温かく見守って

くださった先輩方や同僚の皆様のご指導があったからこそ、今日までやってこることができました。

私自身、一番の思い出は二輪指導員になるために毎日練習したことです。全身筋肉痛が何週間も続き、足にはたくさんあざができました。当時はMランド益田校の水津教習部長(現専務取締役)に一から十まで熱心に、ご指導いただきました。この時、ご尽力くださった水津部長のためにも、絶対一回で合格することを誓って練習したことを覚えています。

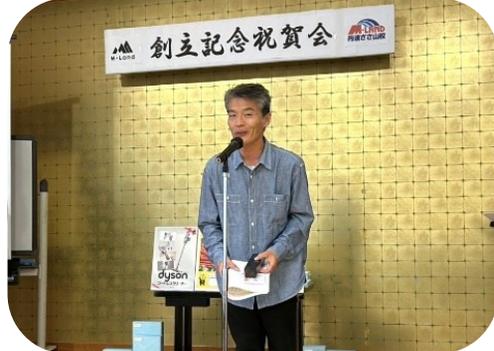
この苦しい経験をしたからこそ、今の自分があるのだと思います。

二十七年間で多くの経験、そして多くの出会いがありました。これらは私のこれからの人生において、かけがえない大切な財産です。

今こうして当たり前のように生活ができること、生かされていることに感謝したいと思えます。

平成十年二月に入社以来、私を支えてくださったすべての方々、本当にありがとうございました。最後にこの

場をお借りし、家族にも感謝の気持ちを伝えます。「ありがとう」



感想を一言!!

Mランドニュース
メール配信対応!

ご要望にお応えし、PDF版メール配信を開始します。

変更をご希望の場合は⇒

※メール配信の場合、郵送はいたしません。

編集後記

おかげさまで、今年も無事に創立記念日を迎えることができました。これもひとえに、日頃よりMランドを支えてくださる全ての皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレ掃除をしませんか?

- 場所 Mランド
- AM8:00~AM9:00

※トイレ掃除のできる服装でお気軽にご参加ください。



カウンターの胡蝶蘭

記念日にはユニットピアさきやま様で職員との食事会も開催でき、共に楽しい時間を共有できたことは大きな喜びでした。思えば昨年の夏からずっと繁忙期が続き、皆で走り抜けてきた一年でした。どんな時も、共に前向き、支え続けてくれた職員の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

近藤 正幸